

第3次

川崎町教育振興基本計画



宮城県川崎町
観光PRキャラクター
「チョコえもん」

令和2年4月

川崎町・川崎町教育委員会

ごあいさつ
～ 町づくりは 人づくり～

新しい命が誕生したとき、その子の寝顔に何を願ったのでしょうか。幼子が成長し、雛祭りや端午の節句を迎えた折々に、折り紙のひな人形を飾り、新聞紙で作った大きな兜を孫の頭にさせながら、祖父母はどのような思いで目を細めていたのでしょうか。そして、入学式や卒業式などの節目の時期に、ファインダー越しに見る一段と成長した我が子に、どのような言葉をかけるのでしょうか。まさに、子どもたちは夢であり、希望であり、宝です。

子どもたちが出場するスポーツ大会や文化的な発表会に案内をいただき、精一杯打ち込む姿を見る機会があります。どれほど練習し、ときには思うような成果が得られない時期を過ごし、悔しく苦しい思いを乗り越えながら本番を迎えたのでしょうか。120%の力を出し切り、結果もさることながら全力を出し尽くした表情からは、互いの磨き合いを繰り返しながら、身も心もしなやかにたくましく成長している子どもたちの様子が伝わってきます。

その磨き合いのきっかけや場を作り、できないことに挑戦し続け、折れそうになった子どもたちの心をときは支え、心や体の栄養を補給し背中をそっと押しやるのが親であり、地域の大人たちであり、教師なのではないでしょうか。人と人との関わりが希薄になっていると言われて久しい昨今ではありますが、この川崎町にはこのようにやさしく、時には厳しく子どもと接してくれる人たちが大勢いることに心強い思いをしています。私たちが子どもの頃、大人たちに手をかけて育ててもらったことを大切に引き継ぎ、さらに時代の変化を巧みに感じ新たな感性を取り入れながら、原石に磨きをかけるべく温かく接していきたいものです。

2011年の東日本大震災以降も全国各地で大きな地震被害や、豪雨による被害が続いています。2019年10月の台風19号は川崎町を含め、宮城県内各地に甚大な被害をもたらしました。また、2020年3月現在、新型コロナウイルス感染症は瞬く間に全世界に広がり、感染拡大防止に向け外出自粛、渡航制限など厳しい状況の報道が続いています。

想定することが難しい状況が生じ、変化がますます激しくなるこれからの時代ですが、「町づくりは人づくり」を念頭に、川崎町の子どもたちや町民一人一人が、将来においても生き生きと輝き、みんなが笑顔で幸せな暮らしができる地域社会となるよう、全力を傾注していく所存であります。本計画の策定にあたり一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和2年4月

川崎町長 小山 修作
川崎町教育委員会

目 次

第1章	計画策定にあたって	
1.	策定の趣旨	1
2.	計画の位置付け	1
3.	計画の期間	1
第2章	本町教育の現状	
1.	本町教育を取り巻く社会の状況	
(1)	人口の減少	1
(2)	家族形態の変化	2
(3)	労働環境の状況	3
(4)	グローバル化の進展	3
(5)	環境問題の深刻化	4
(6)	ICT(情報通信技術)の進展	4
(7)	分権型社会の進展と厳しい財政状況	4
(8)	国や県の教育行政の動向	4
2.	本町教育の課題等	
(1)	子どもたちの状況	5
(2)	教育環境の状況	6
(3)	家庭の教育環境の状況	6
(4)	地域の教育環境の状況	6
(5)	生涯学習・文化芸術・スポーツの状況	7
第3章	本町教育の目指す姿	
1.	目指す姿	8
2.	計画の目標	8
第4章	施策の展開	10